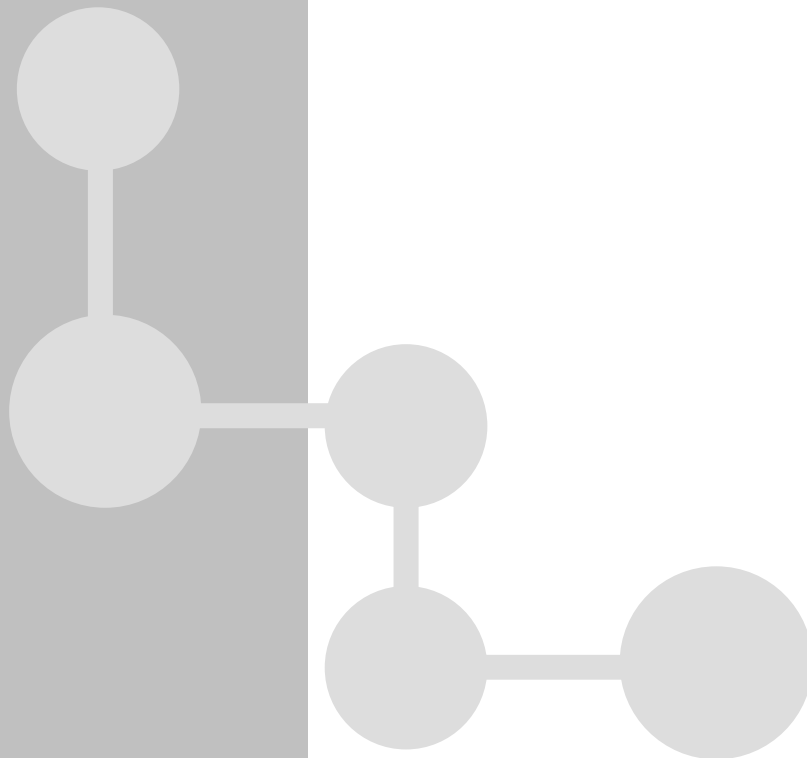




CASSIOPEIA

DT-10

.NET ライブラリ解説書



Ver 1.00

変更履歴

No	Revision	更新日	項	改訂内容
1	1.00	05/2/22	初版	初版発行
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

目次

1	概要	1
1.1	カシオライブラリ用クラスライブラリ	1
1.2	提供ファイルの構成	2
2	抽象化ライブラリ用クラスライブラリ	3
2.1	機能	3
2.2	開発環境	3
2.3	提供ファイル	3
2.3.1	<i>C#.NET</i> 用クラスライブラリ	3
2.3.2	<i>VB.NET</i> 用クラスライブラリ	3
2.4	使用方法	4
2.4.1	クラスライブラリのプロジェクトへの組み込み	4
2.4.2	作成したアプリケーションの端末での実行方法	4

1 概要

本解説書は DT-10 用に、C#.NET および VB.NET 言語を使ってアプリケーションを開発する場合に、カシオライブラリを利用できるように、WindowsCE .NET コンパクトフレームワークに対応したクラスライブラリの利用方法について述べたものです。

1.1 カシオライブラリ用クラスライブラリ

今回対象となるカシオライブラリの構成と機種対応を以下に示します。

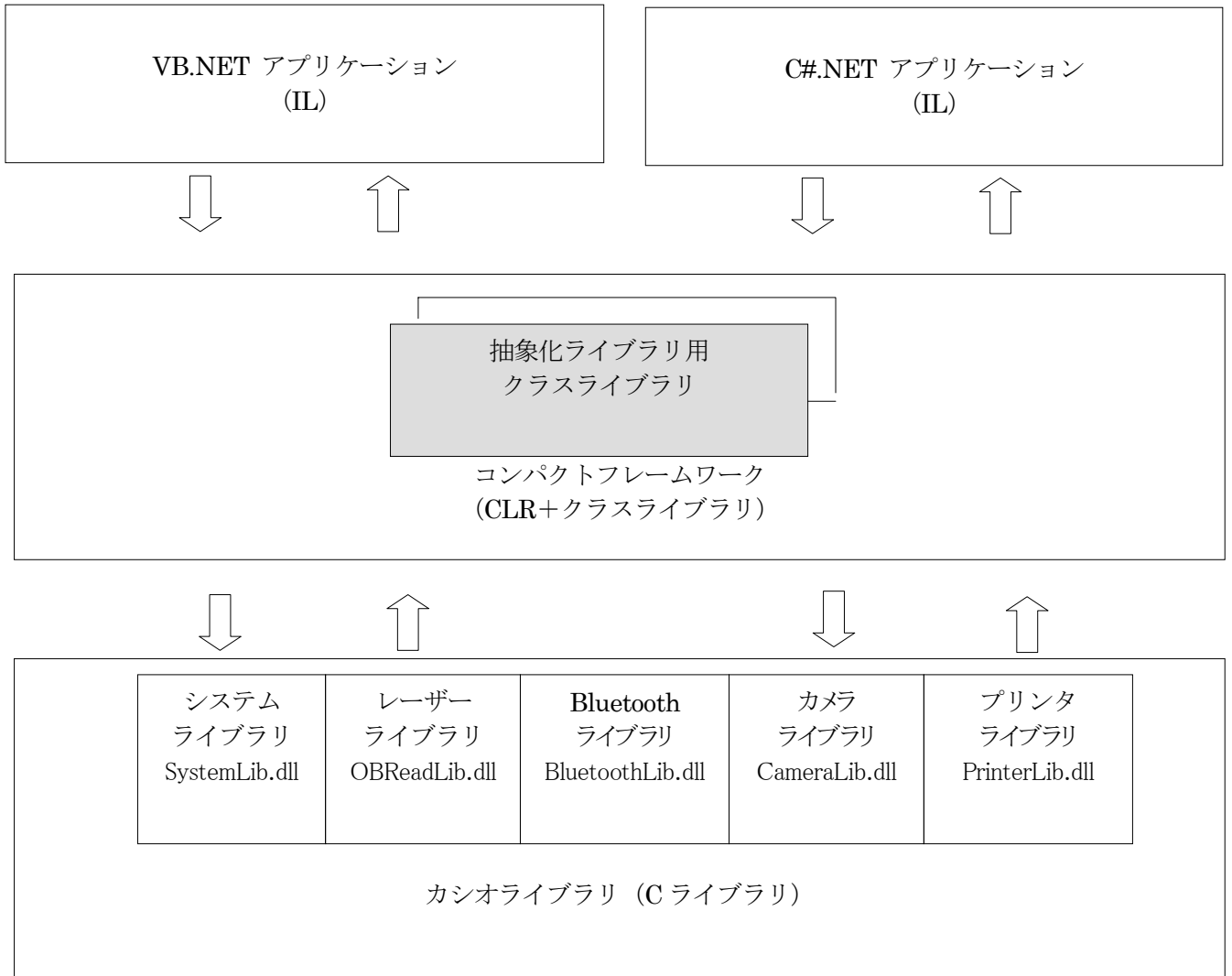
ライブラリ名	クラスライブラリ名	C ライブラリ構成
システムライブラリ	SystemLibNet.dll	SystemLib.lib SystemLib.h SystemLibdef.h SystemLib.dll
Bluetooth ライブラリ	BluetoothLibNet.dll	BluetoothLib.lib BluetoothLib.h BluetoothLibDef.h BluetoothLib.dll

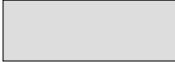
1.2 提供ファイルの構成

各ソフトウェアの関連図を下図に示します。

抽象化ライブラリ（DLL 内の関数）の呼び出しは、クラスライブラリを介して「プラットフォーム呼び出しし（PInvoke : Platform Invocation Service）」で行います。プラットフォーム呼び出しは DLL からエクスポートされる関数を呼び出す汎用的なメカニズムです。

ラッパー関数はコンパクトフレームワークから抽象化ライブラリを呼び出すコードを記述し、アプリケーションが抽象化ライブラリ DLL を利用できるように抽象化された関数インターフェースを提供し、コンパクトフレームのワーククラスライブラリコンポーネントとして位置づけられます。



 : 提供ファイル

2 抽象化ライブラリ用クラスライブラリ

2.1 機能

VisualStudio .NET 上で、C#.NET および VB.NET によるアプリケーション開発（ビルド）において抽象化ライブラリを利用できるようにコンパクトフレームワーク用のクラスライブラリを提供します。

※各関数の詳細機能は

- ・ライブラリマニュアルを参照してください。

2.2 開発環境

Microsoft Visual Studio .NET 2003 + Windows CE Utilities for Visual Studio .NET 2003 アドオン パック

※Windows CE Utilities for Visual Studio .NET 2003 アドオン パックはMicrosoft の HP よりダウンロードしてください。

2.3 提供ファイル

2.3.1 C#.NET 用クラスライブラリ

2.3.2 VB.NET 用クラスライブラリ

C#及びVB .NET でアプリケーションを開発する場合に各ライブラリ関数呼び出しの引数と戻り値の調整を行います。

- ・ SystemLibNet.dll システムライブラリ用クラスライブラリ
- ・ OBReadLibNet.dll レーザーライブラリ用クラスライブラリ
- ・ BluetoothLibNet.dll Bluetooth ライブラリ用クラスライブラリ
- ・ CameraLibNet.dll カメラライブラリ用クラスライブラリ
- ・ PrinterLibNet.dll プリンタライブラリ用クラスライブラリ

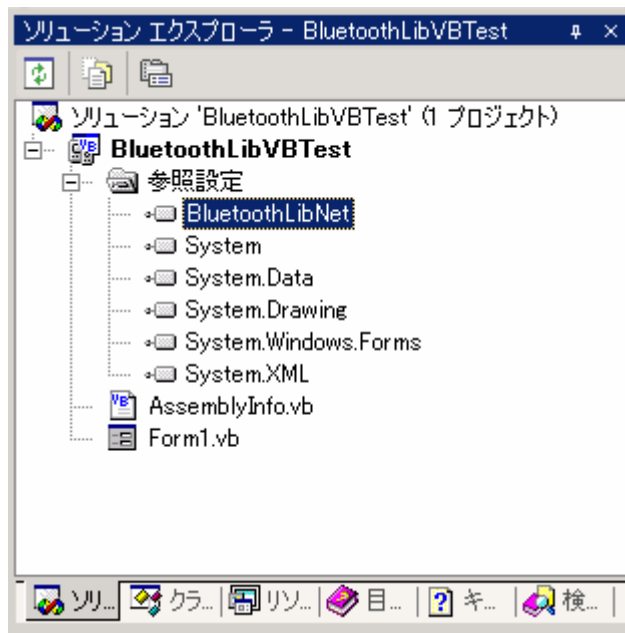
C#及びVB どちらからでも利用できます。

2.4 使用方法

2.4.1 クラスライブラリのプロジェクトへの組み込み

各ライブラリ関数を C#.NET および VB.NET から利用するには、プロジェクトを作成し、使用したいライブラリのクラスライブラリをソリューションエクスプローラ内の「参照設定」に追加します。

下図は VB.NET で Bluetooth ライブラリを利用する例です。



C#.NET の場合も同様に C#.NET 用のクラスライブラリを参照設定に追加します。

また、クラスライブラリ各インターフェースは (C#.NET ライブラリマニュアル) および (VB.NET ライブラリマニュアル) を参照してください。

2.4.2 作成したアプリケーションの端末での実行方法

VisualStudio.NET で作成したアプリケーションとクラスライブラリは、同じフォルダに入れるようにしてください。クラスライブラリの dll を Windows フォルダに入れてしまうとアプリケーションは動作しません。

DT-10

.NET ライブラリ解説書
Ver1.00

発行元：カシオ計算機株式会社
〒162-8543
東京都渋谷区本町 1-6-2
システムソリューション営業統轄部
TEL:03-5334-4638